

平成27年度 第1回河北町総合教育会議 会議録

平成27年6月25日（木）

1 会議出席者

河北町長 田宮 栄佐美

河北町教育長 原田 孝夫

河北町教育委員 真石 由美子 板坂 憲助

高木 茂宏 小林 真公子

2 事務局職員の職氏名

学校教育課長 庄司 宏和 生涯学習課長 佐藤 晃一

教育主幹 大竹 純 管理係長 奥山 明子

3 日程

平成27年6月25日（木）午後4時開会、開議 河北町役場3階委員会室

1 開 会

2 あいさつ

3 趣旨説明

4 協 議

(1) 河北町総合教育会議設置要綱について

(2) 河北町「教育、学術及び文化等の振興に関する施策の大綱」（素案）について

5 閉 会

1 開 会

○奥山明子管理係長 ただいまより、平成27年度 第1回河北町総合教育会議を開催いたします。初めに田宮町長よりご挨拶をお願いします。

2 あいさつ

○田宮栄佐美町長 皆さんお集まりいただきましてありがとうございます。この度、教育委員会制度が大きく変わり、組織替えを行ってきたところであります。その中でも総合教育会議という名称の中で、河北町のこれからの教育をどうしていくか、

ということで大綱を定めなくてはいけない、ということでございます。他の自治体でも新聞等で報じられているところではありますが、河北町としての教育の方向性を定めて、それに基づきながら進めていくというものです。今日はその初回になりますが、お集まりいただいたということでございます。ぜひひとつ、皆様方の河北町の教育、そうした視点でご協議を賜り、河北町にふさわしい、大きな大綱が決まりますようお願いしてご挨拶といたします。

○奥山明子管理係長 ありがとうございます。次に趣旨説明を事務局より行います。

3 趣旨説明

○庄司宏和学校教育課長 では私の方から趣旨説明をさせていただきます。これについては、協議資料のNo. 2-1にまとめたものがありますので、ご覧いただければと思います。今回平成27年4月1日をもって法律の改正がありました。（資料により、教育委員会制度改革について主な見直し点、教育等の振興に関する大綱について、策定の趣旨等、町の対応についてを説明。）

以上のようなところであります。

○奥山明子管理係長 次に協議に入らせていただきます。ここで、座長を町長にお願いしたいと思います。

4 協議

○田宮栄佐美町長 それでは、早速協議に入ります。(1) 河北町総合教育会議設置要綱について説明をお願いします。

○庄司宏和学校教育課長 はい、河北町総合教育会議設置要綱についてということで、今回の総合教育会議を開催するにあたりまして設置要綱を示したところです。（協議資料No. 1により説明）

○田宮栄佐美町長 河北町総合教育会議設置要綱について、委員のみなさんからご意見をお聞かせいただきたいと思います。この通りでよろしゅうございますか。会議の座長て言うのかな。もう入れておいた方がいいのでないか。会議は、町長が招集し、座長となる。ということで。

○奥山明子管理係長 それでは、そこをつけ加えてもよろしいでしょうか。

○庄司宏和学校教育課長 そこを入れさせていただきます。

○田宮栄佐美町長　そういうようなことで、していいのなら、設置要綱を決めさせていただきます。では次に、河北町「教育、学術及び文化等の振興に関する施策の大綱」（素案）について

○大竹純教育主幹　説明させていただきます。協議資料No. 2-2でございます。表紙をめくっていただいて、次の頁です。先ほど課長から説明いたしましたことを受けまして、1 策定の趣旨と内容、2 大綱の計画期間、3 策定に当たっての考え方を設定したところであります。（資料により 1～3 を説明）次の頁、4 基本的な方針についてご覧ください。こちらにつきましては、現行の河北町教育振興計画の目標そのものであります。1 番 2 番については学校教育に関する内容になっております。3 番から 6 番については生涯学習に関わる中身であります。現行の教育振興計画では、「生きる力を育む学校教育の推進」という大きな目標の下にこの 1 番 2 番の文言があります。同じように生涯学習の方では「生きがいに満ちた生涯学習の推進」という大きな大目標の下にこの 3 番から 6 番の文言がございます。お手元に教育振興計画をお持ちでしたら 11 頁をご覧くださいとわかりやすいかなと思います。黒い四角で示している内容については、12 頁の内容に加えて、この振興計画が作られてから 8 年程が経つということで、毎年出している「かほくの教育の概要」ということで毎年更新しております中から、今年度以降 2 年間で非常に重要になってくるであろうものをこの中に入れさせていただいたところです。

（資料により 4 の内容を説明。☆印の現行の教育振興計画に追加したもの。）

○田宮栄佐美町長　今、主幹のほうから説明をいただきました。補足させていただきますと、先ほど話ありましたように、町の前期総合計画が 27 年、今年度で切れます。従って、今年度策定の後期五か年計画を 28 年～32 年までの 5 か年については今策定中であります。従って教育振興計画については、29 年度総合計画を受けて 29 年から 4 年にするか 5 年にするかは今後のこれからの対応になりますが、総合計画に合わせるとすれば、4 年間になるわけですね。その辺の所はまた協議をさせていただきますが、そういった中で今回の大綱を作るというわけですから、27・28、2 か年の大綱としてご協議を賜りたいという趣旨であります。なお、星印の関係については、行政と言いますか、私のがんばりなんかも強く反映させていただいた内容でありますので、ひとつご理解をいただきながら、ご協議をいただきたいと思います。全体を見ていただいて、大綱は県内で大体こういったこういう中身

で作られているもののようなのだという訳ではありますが、星印なんかは、ここ独特のものだと思うわけですね。委員の皆様から忌憚のないご意見をいただきたいと、こういう風に思います。県内の策定状況はどうなっているんですか。

○奥山明子管理係長 近隣では寒河江市がもう先月に総合会議を終えまして、大綱については現在の教育振興計画をもって代える、としているようです。

○田宮栄佐美町長 西村山郡では寒河江で、それまでの振興計画を踏襲していくと。そういったことだそうですけども。どうぞみなさんのご意見を。いろいろとお話をさせてください。はいどうぞ。

○原田孝夫教育長 2点なんですけども。一つは英語教育のあり方についての検討との文言が入ってるわけですが、これはいろいろな考え方があるのですが、これは「英語教育のあり方」でいいのか、あるいは、これから推進していくんだ、との立場で「英語教育推進のあり方の検討」というような言葉を入れた方がいいのか、ちょっとどちらがいいかな、と思ってるところであります。

それから大きい6番ですが、生涯スポーツの推進。河北町で言うと、非常に大きなインパクトを与える区対抗総合スポーツ大会があるんですね。あの大会は毎回千人近い町民の方が参加してくださる非常に大きな、何と言うか、生涯スポーツに近いイベントなので、その言葉を入れた方がいいのかな、という気がしてたところです。

○田宮栄佐美町長 はい今教育長から話しがありましたが、英語教育、学校教育と生涯学習と両方にわたって入っているわけですが、改革そのものよりも、とにかく進めていただく、という趣旨のものでありますので、なんとか皆さんでひとつ議論していただくかという方針でした。従って推進を前提とした中であり方を検討していただく、というようなことでしたが、どうですか主幹。主幹からよろしいですか。

○大竹純教育主幹 はい、「英語教育の推進についてのあり方検討」ということでよろしいでしょうか。

○田宮栄佐美町長 みなさんよろしいでしょうか。はいどうぞ。

○真石由美子委員 いいですか。先ほど（教育委員会）河北町外国語普及検討委員会実施要綱というのがありましたけど。外国語と出てて、こちらでは英語というのはどういうのかな、とちょっと思ったんです。それから、もう一つは4番の生涯学習の中に英語教育のあり方。先ほどの話しでは、学校教育とは別で進めていきたいということなんだけれど、そうすると生涯学習の中で教育という言葉を使うのはい

かがなものかと。一般の人が学べる場を、ということですよ。

○田宮栄佐美町長 はい、今出てきた話しであります。最初は英語英語で進めてきたので英語としたんでしょうけど、外国語と言った方がいいんじゃないかな。

○奥山明子管理係長 そうですね。教育委員会の中でも外国語、という要綱にしましたので。

○田宮栄佐美町長 外国語教育推進のあり方、ということで。そういう風にさせていただきますでしょうか。そうすると、4番目はどういう表現だといいいでしょう。

○真石由美子委員 そっちの方は習得、と。

○原田孝夫教育長 習得というとまた・・・自分から学んで積極的に学習するということかな。外国語学習か。

○田宮栄佐美町長 皆さん、何か無いですか。

○小林真公子委員 やっぱり韓国の方とか英語でない方もいらっしゃるから、やっぱり外国語でした方が。

○田宮栄佐美町長 はい、じゃ4番外国語の教育の教育、が馴染まないのではないかとということです、板坂先生どうですか。

○板坂憲助委員 先ほど教育委員会でもありました河北町外国語普及、外国語というのは英語の他にも想定しているものだと思いますね。そうするとやっぱり英語のあり方では馴染まないということで、今意見出されましたから、外国語学習における、とかそういった表現が適しているのではないかな、と思います。

それから、1番目の先ほどの外国語教育の推進、こちらはどの学校でも英語を考えていると思いますから、情報として英語の他に外国語学習に取り組んでいる学校がありましたら教えていただきたい、ということと、あともう一つこれ、自分でも迷っているところでありますが、道德の教科化に伴って、その文言を2番あたりに含める必要がないかどうかなんです。やっぱり道德ということに限らずに、規範意識のことを想定した文言でも結構ですし、その辺お聞きしたいなと思った所でした。

○田宮栄佐美町長 はい、今のことについて、どうでしょうか。

○奥山明子管理係長 すみません、今のことについて、英語の他に取り組んでいる学校については調べておりませんでした。

○原田孝夫教育長 学校教育の中では無い、ですね。ただ、観光客なんてことを考えると東南アジアとか中国が多いし。

- 小林真公子委員　しまむらとか行くと中国語とかすごい多いですね。
- 板坂憲助委員　学習指導要領では外国語って無いかな。
- 奥山明子管理係長　一般の人向けですと韓国語教室とか中国語教室で日常会話の習得するものやってる所は結構ありますけども。
- 原田孝夫教育長　基本的には英語中心でいいとは思いますが、広く外国を意識させるような外国語という表現の方がいいのではないかな。国際交流協会では中国の人もあるし、韓国の人もあるし。
- 奥山明子管理係長　会話の習得に合わせて、外国の文化も学べるという広い意味があるのかな、と。
- 原田孝夫教育長　こういう意識の違いがあるんだなあ、とかね。日本のお祭りっていうのは中国の葬式に当たるものもあるとかね。
- 田宮栄佐美町長　外国語という名称については委員の方も共通するお話しなのですが、今板坂委員から話しがあった道德問題というのはどう取り扱ったらよろしいでしょうか。
- 原田孝夫教育長　主幹、2の1番目のいじめ防止といのちを大切にする教育の推進あたりに文言をはめ込むことはできますか。それか、新たに項目設けるとかね。
- 大竹純教育主幹　いのちの教育もあれば、心の教育なんて言葉もあるのかもしれないですけども。
- 原田孝夫教育長　ここで言ういのちと言うのは直接的な生命ですね。
- 大竹純教育主幹　そうですね。
- 小林真公子委員　人に対する思いやりとかそういうのですね。
- 板坂憲助委員　思いやりというような規範意識が足りないからやっぱりいじめとかが出てきますね。
- 大竹純教育主幹　さっきのような所を見れば、大切にする心の教育の推進なんて言い方もあるかと思いますが。道德という言葉は直接ここにはめるか、箱の中へ入れておくかという問題もあるかと思いますが。
- 田宮栄佐美町長　教科的にはこれから、道德という言葉でこれから教育される、道德教育というかな。
- 原田孝夫教育長　道德教育という言葉ももちろんあります。
- 田宮栄佐美町長　こころの教育というのは。

- 原田孝夫教育長 もちろんそれもありますけども。
- 田宮栄佐美町長 道徳の範疇の中？
- 原田孝夫教育長 うーん、道徳教育が心の教育の中にある。
- 大竹純教育主幹 そうですね。
- 田宮栄佐美町長 心が広いんだね。
- 真石由美子委員 今仰ったのは、いじめ防止といのちを大切にすることの心の教育の推進ということですね。だと包括的ですね。
- 田宮栄佐美町長 高木さんどうですか。
- 高木茂宏委員 心の教育という言葉がいいかと思えますけども。
- 田宮栄佐美町長 では、みなさんよろしゅうございますか。そういったことでですね、いじめ防止といのちを大切にすることの心の教育の推進、こういうような文言に直させてもらうということによろしいですか。はいどうぞ。
- 真石由美子委員 よろしいですか。1番の中に、家庭地域との連携という言葉があるんですけども。あの、家庭教育に焦点を当てなければいけない時期ではないかな、と。家庭教育に力を入れていかなければいけないんじゃないかと思うんです。やっぱり家庭地域との連携というと、大きく含んでいるんですけども。
- 小林真公子委員 家庭の教育力が今低下してきたって言われてますからね。
- 原田孝夫教育長 申し訳ないですが、ここの中に入れるものはどのレベルまで入れるかという問題があります。どうでしょうね。
- 真石由美子委員 細かくって言うのはこの次の段階で入れるということですね。
- 原田孝夫教育長 その時には入ってくると思うんですけども。ここに入れた方がいいものもあれば、その次のレベルって言うのもおかしいですけども、細かく規定した方がいいのでないかということもありますよね。家庭地域の連携という中に教育力の低下に関する施策っていうのを入れるということはできますよね。
- 大竹純教育主幹 他の文言が何々の、学習の推進、教育の推進ときてる中で連携、で止まると何となく弱い感じがするので。連携の強化、とか、そこまでいくと少し真石先生の仰った所がより際立ってくるかな、と。まあ強化という言葉がいいかどうかかわからないんですけども。
- 板坂憲助委員 最近の特色を見ると、地方創世を達成するために、やっぱり今あった学校と家庭地域を連携してコミュニティスクールを目指すというのが非常にク

ローズアップされてます。ですから今課題になってる通り、ここ6つの基本方針ありますけども、他の自治体によっては、一つそれを大きく取り上げてる自治体もあるんですね。そこらへんどのように河北町では重点的に取り上げるかが問題だと思いますけども。全国的な流れとしましては、先ほど言ったコミュニティスクールのような地域との連携による学校づくりということが叫ばれてますけども。大きな課題になっているということは間違いないと思います。

○原田孝夫教育長 いいですか。コミュニティスクールについては、大石田とかでやってるわけですが、非常に形としては理想ではない形であろうと思うんです。一つ大きな目的があってそれに合わせたコミュニティスクールだろうと思います。ですから、難しいと思いますが、今河北町でコミュニティスクールということを全面に押し出すのは、もうちょっと後かな、という風に感じがしています。つまり、学校そのものが地域コミュニティの中心だという考え方はまず基本的に河北はしているんです。だから、学校の統廃合は当然慎重にならざるを得ないんだということなんですけども。だとすると、学校をどういう風にコミュニティに位置づけていくかということも大事なんですけども、コミュニティスクールでいうことを全面に押し出していくのは、ちょっとまだ5～6年早いかなという気がしています。

○板坂憲助委員 考え方としては、おそらくね。

○原田孝夫教育長 そうですね。

○板坂憲助委員 西川町なんかも既に取り組んでますよね。

○原田孝夫教育長 西川はまあ1校だから。おそらく次回の大綱の中では学校をどう位置づけていくか、あるいはコミュニティの中でどういう位置づけにしていくかということも当然出てくる中身だという気はするんです。それがあって、じゃあコミュニティスクールという形で制度的にやっていこうという話になるんじゃないかな、と思います。

○大竹純教育主幹 10年という長い設定にするかどうかなんですけども、そのあとの新教育振興計画の中では当然さっきのような視点でいけば入れていかなければならないのかなと思いますし。その中で、この部分が薄いよね、とか次期振興計画では当然そういった話もあるでしょうし、町の振興計画の中でも触れられてくる部分もあるのかなと思いますし。そういったさまざまな部分も次期教育振興計画の中に上手に取り組んで入れていくことになるのかなと思います。今回の大綱なんです

が、そこまでの橋渡しという部分で考えて行くと、8年前に作ったこれと次期の部分を想定した文言について詳しく書ければ一番いいのかもしれませんが、それを書くことによって次の振興計画への影響も出てくるかなと思うと。確かに家庭・地域との連携だけでは弱いとも思いますし、文言については考えなければいけないでしょうけども、それ以上に踏み込んだところを、この中に入れ込むかどうかというところを、みなさんから判断していただかなくてはいけないかなと思います。

○田宮栄佐美町長 今お話あったことも、教育長とはよく話してる内容なんですけど、27・28この2ヵ年間に渡る方向付けという今回の大綱ということなんですけども。板坂委員からお話あったコミュニティスクールというのは、学校全体としてどう考えていくかということが当然出てきます。そうしたところまでには今回は触れないということでお願いします。学区の見直しということは、今回やらせていただきたいと思いますが、学校の統廃合という問題までは今回は考えていなかったものですから、まず当面学区の再編ということを取り上げてもらって、それよりも大きい括りの中での議論は次回の計画の中でお願いしたいということでしたので、ひとつ。

○板坂憲助委員 はい。

○田宮栄佐美町長 そういったことになると、家庭・地域との連携だけでなく、ここに何か一つ文言を入れるとなるとどういう文言が適切なんだろうかな。

○原田孝夫教育長 連携の強化ということでどうですか。

○小林真公子委員 そうですね。

○田宮栄佐美町長 それでは強化ということで、入れさせていただきますか。

○原田孝夫教育長 佐藤課長どうですか。区対抗スポーツ交流大会について。

○田宮栄佐美町長 区対抗は、次に。

○原田孝夫教育長 これはかなりインパクトのある事業なんだね。社会体育の中で。

○田宮栄佐美町長 町民みんなだからね。

○原田孝夫教育長 小学校から90歳過ぎの方まで一緒にしてるというのは無いよ。一つの大きな目玉になるのではないかなと思う。

○小林真公子委員 区対抗というのは生涯スポーツの推進の中に含まれてるんですね。

○佐藤晃一生涯学習課長 はい。どちらかと言うと下の方に。

- 小林真公子委員 各種スポーツ大会。
- 田宮栄佐美町長 これは特殊なんだよね。
- 大竹純教育主幹 おそらくスポーツ選手の育成・強化と点で繋がってるので、区対抗と違うスポーツ大会をイメージしてしまうのかなとも思います。
- 田宮栄佐美町長 区対抗スポーツ交流大会。何かないですか。
- 原田孝夫教育長 生涯スポーツととらえていいんですか。
- 佐藤晃一生涯学習課長 ライフステージに合った生涯スポーツリクリエーションの振興。というようなことになるのかなとも思いますけども。
- 原田孝夫教育長 振興計画によるとね。
- 田宮栄佐美町長 町民が揃って参加出来るスポーツ交流大会の推進。
- 小林真公子委員 これ、と、じゃなくて分けちゃったらいいいんじゃないですか。生涯スポーツは生涯スポーツで、スポーツ少年団はスポーツ少年団で分けると生涯スポーツのあたりもスポーツ少年団が参加するというものになる。これだと、スポーツ少年団ばかりを養成するようにもとられるので。
- 原田孝夫教育長 例えば区対抗スポーツ交流大会と生涯スポーツの推進ということとで1項目にして、あとはスポーツ選手の育成ということで。
- 区対抗は入れたいですね。
- 真石由美子委員 目玉にはなりますよね。
- 原田孝夫教育長 どの市町にもないですからね実は。勝っても負けても笑顔という。
- 田宮栄佐美町長 あれたけの人数揃うんだからね。
- 原田孝夫教育長 課長、区対抗スポーツ交流大会等と生涯スポーツの推進で1項目。あとスポーツ選手の育成・強化で1つ。ということでいかがでしょうか。
- 小林真公子委員 いいと思います。
- 田宮栄佐美町長 はい、じゃここ6番目のところこうしましょうか。区対抗スポーツ交流大会等と生涯スポーツの推進で1項目として、別項目でスポーツ選手の育成・強化ということで。
- ほか何かありますか。5番1項目だけで物足りなくないですか。文化財だけじゃなくて、芸術文化事業あれだけあってで。
- 庄司宏和学校教育課長 すいません、4番目の英語教育のあり方についてを、外国

語学習の推進、て入れますか。上の方だと推進としてますけども。

○田宮栄佐美町長 外国語学習のあり方の検討でいいのでないか。

○小林真公子委員 あとは何かね、子どもたちが生まれ育った町を好きになるような一言が入るともっと素敵になるかなと思います。

○原田孝夫教育長 芸術・文化事業の支援及び充実、なんてしたらどうでしょうか。

○真石由美子委員 そうすると、サハトの文化事業とかもありますからね。

○原田孝夫教育長 主幹、振興計画の12頁の体系の中で芸術・文化事業の支援及び充実とありますからこれをそのまま入れてどうでしょうか。

○大竹純教育主幹 本文で言うと52ページですね。とすると、文化財の前に入れた方がいいですね。

○田宮栄佐美町長 では今話しあったように、芸術・文化事業の支援及び充実という言葉を入れるということで。はいどうぞ。

○小林真公子委員 2番目の学校給食・食育の充実というのがありますけど、給食が始まってもう10年以上になりましたので、何かワンステップ上がってやるものがないでしょうか。

○庄司宏和学校教育課長 いいでしょうか。学校給食・食育の充実ということで、今回こちらの方に上げさせていただいてるんですけども。先ほど主幹からあったようにこれから新しい振興計画を作成することになってますので、その時にこちらの方も見直すことを考えていきたい、ということで。

○大竹純教育主幹 例えばこちらの第7次の計画だと、家庭における望ましい食習慣の普及に努める、となると今の話に近いのかなと思いますけども。後期計画の見直しに入ってるということもありますので。そちらがまずあって、29年から作っていくということになるので、まずは27・28年の2カ年という意味から食育をより踏み込んだ家庭での食習慣の普及という部分の所まで、果たして言っているところもあるので。今の課長の話しはそういうことだろうと思いますが。

○田宮栄佐美町長 では、よろしいでしょうか。

○小林真公子委員 はい。

○田宮栄佐美町長 図書館の機能向上とありますが、具体的に言うとどんな機能向上なんですか。ハード面なのか、ソフト面なのか。

○大竹純教育主幹 表現の齟齬というか、整合性がとれていないのではないかと思います。

ますが。１２ページの機能の充実

○田宮栄佐美町長 そういったことでここは、中央図書館の機能充実という文言にさせていただいていいですか。いろいろご意見いただきまして、方向付けが出来ました。意見をいただいて取りまとめた内容を、みなさんにお集りいただく機会ありますか。

○原田孝夫教育長 次回の委員会は来月ですが。そうですね。今ご意見いただいたものをまとめていただいた文言で、これでいいとなれば。

○大竹純教育主幹 今まとめたものを素案というか、

○田宮栄佐美町長 まとめたものを委員にお渡しして、もう一回見てもらって、それで決めてしまう、ということで。本当は素案を今日決定したいんです。早く決定できれば、町報なんかでも町民へお知らせできるし、総合計画でも町の大綱として持っていけるわけなんです。

○庄司宏和学校教育課長 ６月中に委員の学校訪問あるので、でも町長はどうでしょうね。

○田宮栄佐美町長 それいつあるの。

○庄司宏和学校教育課長 ６月２９日と３０日。

○田宮栄佐美町長 じゃあその時にしてもらえば。

○原田孝夫教育長 ２９日に、主幹に素案を出してもらって、その時に認めていただければ。

○田宮栄佐美町長 みんなで見てもらった方がいいのよね。３０日学校訪問何時頃？

○庄司宏和学校教育課長 １１時３０分くらいまでです。

○田宮栄佐美町長 じゃその後役場に集まってもらって。

○庄司宏和学校教育課長 じゃあ終わり次第こちらに集まるということで。

○田宮栄佐美町長 １１時４０分頃ということで。そして確認していただいて成案とする、ということで。いろいろご意見賜りましてありがとうございました。次回３０日１１時４０分から、ここにお集りいただいて、確認してもらってから成案とさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

○奥山明子管理係長 これで第１回河北町総合教育会議を閉会いたします。

５ 閉会 午後５時１０分